

No.788 July 2022

ASAHI MACHI

Public Relations

㊦ 広報あさひまち

ひとときの暑さ忘れる
小さな発見

2022
7

No.788

消防・防災関係と環境業務を担当しています。毎日が勉強の日々で、充実して仕事に取り組んでいます。町民の方々から信頼されるよう職員になれるよう一生懸命頑張ります。

令和4年度採用
総務課危機管理対策室
佐竹 柊



介護保険料と後期高齢者医療保険料を担当しています。分からないことばかりで勉強の日々ですが、どんなときも丁寧な仕事を心がけています。令和4年度採用 税務町民課 長岡結希

※撮影時のみマスクを外しています



道路修繕・災害復旧等の工事の発注・監督等を担当しています。町のインフラに関わる仕事のため、町民の皆さまが不便なく快適に生活できるように努めています。平成29年度採用 建設水道課 今野泰樹

私たちと一緒に **challenge** しませんか

令和5年度採用 朝日町職員採用試験

上級行政、初級行政、初級土木

■受付期限 8月12日(金) ※正午必着

詳細は、町ホームページをご確認ください



問合せ先 総務課総務係 ☎67-2111

目次 ◎ CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
令和5年度採用 朝日町職員採用試験
- P4 特集
オトナの笑顔が子どもたちを笑顔にする
末吉良ボーイズ
- P10 町政スポット
・第48回 町消防操法審査会
・「移動町長室」を開催しています
・「朝日町緑の少年団」結団式 ほか
- P12 6総見直しに係る町民ディスカッションレポート
- P14 まちレポ
・前田沢ウォーキング ・浴衣の着付け教室
・あさひ保育園で昔語り ほか
- P16 第77回 春の院展に山口裕子さんの作品が入選
各種大会の成績
- P17 それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18 健康あさひるばんざい、朝日町エコミュージアムサ
テライト散策、戸籍のまど、となりのりんごさん
- P20 宮宿小学校6学年行事 鳥原山登山

表紙の写真



7月10日、助の巻地区にある「虚空蔵の滝」駐車場の傍に咲き並ぶアナベルの葉の上にちょこんと座るカエルを撮影しました。アナベルとは咲き進むと色が変化するアジサイの一種で、助の巻地区の地域の方々が手入れをしています。暑い日が続く昨今、アナベルの涼しげなたたずまいに癒されてみてはいかがでしょうか。

町長歳時記 (187)

地方創生のヒントは、 小さな村にある ～北海道おといねっぷ 美術工芸高等学校～

コロナ禍により中止を余儀なくされていた村山地方町村会の町長研修が3年ぶりに6月末から2泊3日で行われました。現地を訪問し地元の方々から直接お話を伺い、実際に目で見て、肌で感じることの大切さを改めて実感したところでありました。

今年の3月、全国町村会発行の「町村週報」に「地方創生のヒントは、小さな村にある」と掲載された北海道おといねっぷ美術工芸高等学校を訪ねさせて頂きました。

人口が676人で、北海道で一番人口の少ない村でありました。この村には全国でも珍しい村立の「北海道おといねっぷ美術工芸高等学校」があります。そこに在籍する生徒数は村の人口の約2割にあたり、2年生の1人を除いてあとは道内から8割、さらには遠く鹿児島県を含む全国各地から2割の生徒が美術工芸を学ぶために移住して来ているということでありました。

そもそもこの高校は道立の定時制高校であったということでした。昭和50年代に入り入学者数の激減に見舞われ、昭和53年には入学者6名とついに一桁代に突入してしまいました。危機感を募らせていた住民が前年の52年に住民有志主体の「音威子府高校振興調査委員会」を設立しました。木材工芸教育を中心とする高校振興策を提言し、昭和59年定員45名の村立全日制工芸科に転換し、平成14年に校名変更ということでした。

令和2年度決算の高校に係る財源比較をみると、普通・特別交付税と就学支援金等収入合計が1億9000万円余り。支出合計が3億円余りで、差し引き1億1000万円が村の一般財源充当額になるということでした。この村立高校を村の総合戦略の中心に置き、全ての基本目標と連動させていくという佐近勝村長はじめ村民の並々ならぬ決意が、バイタリティー溢れるチャレンジ精神に繋がっているのだと強く感じてきたところでありました。

朝日町長 鈴木浩季



子どもたちがしたいことを全力で

写真は全て末吉良ボーイズが企画したイベント等で撮影したもの。どの場面でも楽しそうな表情をした子どもたちが映っています。

これまで子どもたちのために、いくつものイベントを企画してきた末吉良ボーイズ。例えば、小学生からの「外で普通と違う鬼ごっこがしたい」という声に応えたテレビ番組のような鬼ごっこ「全力逃走鬼ごっこ」の開催や、「周りを気にせず安全にスケボーがしたい」という声に応じてスケボーランプを「みんなで作ろうワークショップ」で作ってみたいりと活動内容は様々ですが、そのどれもが、写真のような子どもたちの笑顔に繋がっています。

また、昨年度から宮宿小学校の地域学校協働本部にも所属し、学校や地域と連携・協働しながら子どもたちを育み、地域の活性化に貢献しています。

1&9. バッキラトーン(水鉄砲大会)での満面の笑顔 2. 第2回ソーシャルディスタンス鬼ごっこにて鬼から逃げる子どもたち 3. バッキラベースのランプで遊ぶスケボー少年 4. 試験的に行った雪遊びイベント 5&8. バッキラベース冬まつりでの一コマ 6. 子どもたちのために近江屋さんのワンコーナーを末吉良ボーイズメンバーがプロデュース 7. 第1回全力逃走鬼ごっこのみんなで記念写真

オトナの笑顔が子どもたちを笑顔にする
末吉良ボーイズ

テレビや新聞等のメディアでも何度も取り上げられ、知名度が上がっている町の若者有志団体「末吉良ボーイズ」。これまでにない独自の取組みにより、地域活性化や若者の居場所づくりの場として欠かせない存在となっています。

今月号はそんな末吉良ボーイズの活動を特集します。

これからの朝日町の発展に欠かせない存在



宮宿小学校
秋場 一憲 校長

昨年度から末吉良ボーイズさんには地域学校協働活動を進める団体の一つとして大変お力添えをいただいております。来年度からはPTA 学年行事の企画運営をサポートいただけるとの申し出をいただき、PTA 会員が少なくなっている今、保護者の方々からするとこれだけでも助かります。

また、これからの朝日町を担う齋藤代表のような若い世代の方々が地域活性化に尽力されているというのが素晴らしいことです。ある著名な大学教授曰く「これからの地域活性化の鍵は若い世代をどう巻き込んでいくか」。まさにこれからの持続可能な朝日町の発展に欠かせない存在だと思っています。

参加した子どもたちの声



普段水鉄砲を打つ機会などなかなかないので新鮮な気持ちで楽しめました。また、幅広い年齢の人が参加していて楽しかったです。2つに分かれてチームを組んだので普段しゃべった時のない人とも話げできたことも良かったです。

本田 莉々さん



鬼役の大人がいろいろなマスクをつけて追いかけてきたり、上手く隠れたりして面白かったです。アイテムの存在や広い会場の中で全方向を注意しなきゃいけないのがテレビみたいでリアルで楽しかったです。

鈴木 音々花さん



1. 全力逃走鬼ごっこで鬼役を務めたメンバー 2. 倉庫をセルフリノベーションした秘密基地「バックラベース」 3. 地元大工さんの協力の下自作したスケボーのランプ 4. 町の歴史の文献やその場所へ赴き調査する末吉良青年団史跡調査部 5. ラスティカさんと一緒に最上川のごみ拾い 6. ベース奥のたき火スペースで語り合うことも 7. 空気神社ライトアップスペシャルデーにて金魚すくいの出店を出し、軽快なトークで盛り上げるメンバー 8. オリジナルのアパレルも製作販売 9. 毎週末熱い戦いが繰り広げられる最近話題のeスポーツ部

バックラベース利用者の声



単刀直入に言って
イケてる場所だと
思いました

白鷹町地域おこし協力隊
Youtube 金髪物語
熊谷 春香さん

私が白鷹町の地域おこし協力隊に就任してから、近隣の協力隊の方や観光協会さんとSNSを通じて交流する中で、齋藤さんに「遊びにおいでよ」と誘われたのが初めのきっかけでした。バックラベースはただ集まって話しをする場ではなく、秘密基地みたいなワクワクできる場所だと思います。そういう場所を作ることを許してくれる町も良いなと思いました。ふとした時にそろそろ行かなきゃな~と思ってみんなに会いにここに来て、今こういうことをしていると、こういうことをしたいけどどう思う?といった楽しいことの情報共有をしています。

末吉良ボーイズは
未来に引き継ぐ宝
だと思います



長岡 優さん

代表とは消防団と一緒に、バックラベースにフラッと連れてってもらったのがきっかけでした。元々映画が好きで、中でもチームとかが集まってたむろする様な場所に憧れがあったこともあり、最初からホーム感がありました。落ち着くんですよ。ダーツしたいとかスケボーしたいとかじゃなくて、集まって話しをするだけでいいんです。町内だと酒抜きに集まれる場所が無いんですよ。そういう場所が近くにあるというのが大きいです。ここに来る人の中では最年少なんですけど、年上の方は先を見据えた視点を持っていて話すのが楽しいです。

子どもが楽しむにはまず大人自らが楽しむ



末吉良ボーイズの皆さんは前頁のような子どもたちのための活動だけではなく、同世代(20~40代)が楽しむための活動も行っています。空き倉庫を自分たちで片付け、整理した大人の秘密基地「バックラベース」には夜な夜な若者が集まり、親交を深めています。また、掲載写真のように、町の遺構を調査したり、ゴムボートに乗って最上川のごみ拾いをしたりなど活動も様々。写真以外にも軽音部やマーチン部、ガンプラ製作部など各々が好きなことを楽しんでいます。今回末吉良ボーイズのメンバーとメンバーではないけどもバックラベースに顔を出す方々にお話をお聞きしました。



末吉良ボーイズメンバーの声



おもしろいことを
すっだいというこ
とに共感してます

登坂 尚高さん

隆くんから秘密基地を作りたいという話があったので、「良いですね!すぐやりましょう!」と言って倉庫を片付け始めたのがきっかけですね。末吉良ボーイズには僕個人の企画である花火大会でも警備や後片付けを手伝ってもらってありがたいと思ってます。僕は仕事柄朝が早いので、夜に集まったりはあんまり出来ないんですが、おもしろいことをすっだいてというのが僕の行動原理なので、いろいろな人と繋がりを作っておもしろいことをしている末吉良ボーイズは貴重な存在で大事にしていきたいものだと思います。

東京に居た頃より
も同世代の友だち
が増えました

朝日町地域おこし協力隊
Youtube パオクンチャンネル
田岡 知暁さん



末吉良ボーイズとの出会いはインスタグラムで、「なんだこのやんちゃな団体は」と気になり紹介してもらったことがきっかけです。移住したばかりで、元協力隊の青木さんや阪野さんくらいしか知り合いがいない中、末吉良ボーイズが近い世代の人と話す場となり、友だちが出来た場所でした。団体としての決まった活動(定例会など)があるわけではないので、凄く居心地が良いんですよ。夜9時くらいから集合して、みんなでしゃべっているのが楽しいんです。普段繋がらない人とも代表が繋げてくれるので世界が広がる場でもありますね。

節目を迎える末吉良ボーイズの これまで これから 過去と未来

これまで鬼ごっこや水鉄砲大会のイベントを成功させ、バッキラベースは若い世代の交流の拠点となっているなど、着実に成果をあげている末吉良ボーイズ。3年目という一つの節目を迎える齋藤隆代表と鈴木淳副代表にこれまでとこれからの話をお聞きしました。



バッキラボーイズ代表
齋藤 隆 さん

朝日町でもこんな楽しみ方があるんだよ、
というのを子どもたちに見せたいんです

バッキラボーイズの始まり

4年前まで町に人を呼び込むイベントを実施していたのですが、気持ちに変化があり、自分たちが町で楽しむべきじゃないかと思い至りました。そのためには同年代が集まる場所が無くて、あっても飲み屋さんしかない。それで（一社）希望活動醸成機構の阪野くんに自分たちの世代の「居場所づくり」に何か良いアイデアが無いかを相談し、そこで行政からの支援についてのアドバイスをもらいました。またその頃、町内の駐車場でスケボーをやっていた中学生たちが、周りの人から注意を受けて遊べなくなっている、とい

うことがありました。僕は親世代なので、子どもが気兼ねなく遊べる場所というの「居場所づくり」の中に含まれているんです。遊び場を作りたいというのがそもそのスタートでした。

活動目標

活動の大前提にあるのが自分たちが楽しむこと。朝日町でもこんな楽しみ方があるんだよというのを子どもたちに見せたいんです。自分や仲間たちの子どものだけでなく、その友だちやひいては町に住む子ども皆にこんな大人がいるんだよ、ということ伝えていと思っています。町おこしとか地域おこしのつもりはないんですが、子ど

もたちには楽しいことをしてあげたくて。子どもに注力しない町は終わると思うんです。自分たちが子どもの頃に行った祭のことを覚えているように、今の子どもたちが将来、おじさんたちがおもしろいことしたなあと思いだして町のことを好きでいてくれる要因になってくれればいいですね。

名前の由来

バッキラベースがある辺りが昔「末吉良」という地名だったんです。副代表が歴史好きというのと、響きが良かったので決めました。それと、末吉良が使われていた頃は町の中ももっと賑やかだったと思うんです。その頃の賑わいを取り戻す、ではないですが、リスペクトの意味も込めています。

活動して3年目を迎えて

これまでやってきて手探りながらも鬼ごっこ、水鉄砲と実施。子どもたちのウケが良く、自分たちも楽しかったので、事業の柱になると実感が出来ました。やらされているんじゃないで、運営側も楽しんでやっているんです。大変さはあるけど気負わなくていいですね。活動が新聞やテレビで取り上げられることもあります。それは活動する過程で取り上げられたのであって、こちらとしては目立ちたいわけでは無いです。SNSを見て、苦言を呈さ



バッキラボーイズ副代表
鈴木 淳 さん

町おこしや地域おこしじゃなくて、
子どもたちが楽しいと思っことをしてあげたい

れる時もあるのですが、今のままで関心ある人だけに見てもらえれば良いと思っっています。特別良い子ちゃんでもないし、輩でもない。そのスタンスで結果的に上手く回ってききましたし、あまり真面目にしてたらここまでやれてなかったと思います。誰でもウエルカムじゃなくて、あくまでも知り合いの繋がり。担っているところが違うと思うので、他の団体と協力して何かをする気はありません。ニッチなところを担うからこそ秘密基地なんですよ。

援センター、高齢者には「すぽっと」みたいに支援や施設があるけどこの世代には何もないと思うんです。また、4年目からは、鬼ごっこ・水鉄砲・雪遊びの三本柱を維持しつつ、さらなる活動内容も考えなければいけないと思っっています。来年からは宮宿小学校の学年行事で困っている保護者さん方が居たら、技術を持った人とのパイプ役としてお手伝いすることが決まっています。陶芸であったり絵画だったり、それこそ水鉄砲がしたいという際にはバッキラボーイズを使ってもらえればと思っいます。

終わりにバッキラボーイズの活動方針を紹介します。

私たちは若者がこの町に希望を持てる活動をし
私たちは互いに夢を語れる居場所を創ります
私たちは若者が誇れる町を目指し前進していきます



5年、10年経って、こんな当たり前の方針が馬鹿にされるようになっていっことを願っ。末吉良ボーイズは活動していっきます。

今後の展開について
もう少しこの世代を見てほしいといっうのがあります。小さい子どもには支

「朝日町緑の少年団」結団式



ふるさとの豊かな自然を守り育てる「朝日町緑の少年団」の結団式が6月21日、秋葉山で開催されました。緑の少年団は国土緑化推進機構が推進する自主団体で、今年度は町内3小学校の4年生39人が団員に任命されました。

式典では同団運営協議会長の堀俊一教育長が「この活動を通して、朝日町の良さを知り、ふるさとの自然を守り育てることの大切さを学んでほしい」とあいさつし、団員の証となる緑のスカートとワッペンを全団員に授与。団員たちは「緑と親しみ、緑を守り



育て、ふるさとを大切にします」と全員で朗読し、決意表明を行いました。

そして、体験活動として地元西山杉を活用した木のネームプレートを作成。グループごとに分かれた団員たちは木の板の角を紙やすりで磨き、ペンで名前やイラスト、模様をつけて自分だけのオリジナルネームプレートを完成させました。

今後、団員の4年生は、3小学校で連携を図りながら、緑を守る奉仕活動やレクリエーションなどを行っています。

JA さがえ西村山から紅秀峰が寄贈



6月27日、JAさがえ西村山から町内の3小学校にサクラノボの「紅秀峰」を寄贈していただきました。贈

呈式が行われた宮宿小学校では、朝日町さくらんぼ組合組合長の熊谷聡さん（新宿）から子どもたちへ紅秀峰が手渡されました。

JAさがえ西村山の柴田栄三郎理事は「厳しい環境の中でも立派に育った紅秀峰を食べて、学校生活も頑張ってください」とあいさつ。子どもたちは早速その日の給食で提供された甘酸っぱいサクラノボを笑顔で頬張っていました。

固定資産評価審査委員に長岡憲夫さん



町議会6月定例会の同意を得て、6月22日付で、朝日町固定資産評価審査委員に、長岡憲夫さん（常盤）が選任されました。

本委員会は、市町村に置

かれる行政委員会で、固定資産台帳に登録された固定資産の価格に対し、住民から不服申立てがあった場合に、公平かつ中立的な立場で内容を審査する機関です。

町の条例で委員の定数は3人以上とされており、6月22日現在、長岡委員のほか、柴田徹委員（大町）、志藤彰委員（大谷第三）の3人が選任されています。

任期はそれぞれ3年間となっています。

日頃の訓練の成果を披露 第48回 町消防操法審査会



審査および表彰結果は次のとおりです。

▼優勝
第二分団第三部（海野豊弘 部長／西船渡、八ツ沼、能中、高田）小型ポンプ
自動車ポンプ

▼準優勝
第二分団第四部（佐竹俊彦 部長／常盤・夏草・長沼）自動車ポンプ



【格付表彰】
▼銀賞（赤）
第二分団第三部小型ポンプ
第二分団第四部自動車ポンプ
▼銅賞（緑）
第二分団第二部（渡辺良輔 部長／前田沢、新宿、四ノ沢、緑町）小型ポンプ
第二分団第一部（鈴木聖也 部長／松程、大船木、今平）小型ポンプ
第一分団第三部（菅井知紀 部長／和合）ポンプ車



町長と語ろう代替事業「移動町長室」を開催しています



太郎第三区では、ご神体を白山神社から公民館へ移動する神事に町長と職員が参加

新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年度から中止している地域座談会「町長と語ろう」。多様化する地域課題の解決には、町民と行政の間で信頼関係を築くことが重要です。町長と語ろうに代わり、町長と地域担当職員が区に伺い、区の現状や課題等を把握するために「移動町長室」を開催しています。

6月11日の太郎第三区を皮切りに各地区で開催し、来年度までの2年間で全55地区の開催を予定しています。座談会形式だけでなく現場視察や地区行事への参加等、地区に合わせた開催形式で、感染対策を講じながら実施します。ぜひ地区の皆さまの意見を聞かせてください。

①農業



町からの提案
 ・りんごを中心とした担い手の確保と所得の向上
 ・農業者の夢実現と地域の活性化



②商工業、交流、観光



ナイスな意見に拍手!

町からの提案
 ・企業や商店の更なる情報発信と支援の活用
 ・交流人口の増加



③子育て



町からの提案
 ・子育てをしたいと思える町になる
 ・DX推進による子育てしやすい環境構築

DXってどう子育てに活かすの?

④学校、生涯学習



町からの提案
 ・コミュニティ・スクール推進、社会の変化に対応した「確かな学力」グローバル化に対応する「語学力」等の学びを支える

高校生になると町との関わりが減っている気がするね

⑤健康増進、医療、福祉



町からの提案
 ・若者世代の健康意識の向上
 ・地域の支え合いや居場所の活性化



⑥住まい、交通



町からの提案
 ・空家対策、交通弱者支援、交通の最新技術導入

DMV (デュアルモードビークル) ってどんな車両?



⑦環境、防災



町からの提案
 ・ゼロカーボンの実現に向けた温室効果ガス削減
 ・町民の防災意識強化

どれくらい二酸化炭素の排出量を減らせばいいの?

⑧地区づくり活動、まちなぎわい・元気づくり



町からの提案
 ・住民自ら地区運営と課題解決に向かう意識の向上
 ・地域のために活躍したい、盛り上げたい、課題を解決したい人材の増加

⑨町民と行政の協働、行財政経営、高度情報化・広聴



町からの提案
 ・町民満足度の向上に繋がる行政サービスの提供

町公式 LINE の活用状況は?

第2回では7月中旬にチームごとに分かれて開催し、町民委員の皆さんから町の提案に対する意見をいただきます。

引き続き町民が活躍し笑顔あふれるまちを目指すための計画を策定していきます。

町民ディスカッション始まりました



日時：令和4年6月24日(金) 午後7時～9時
 場所：開発センター2階ホール
 参加者：町民26人、町職員37人 計63人

6 総見直しに係る町民ディスカッションレポート 第1回

町では今年度、まちづくりの指標となる「第6次朝日町総合発展計画」の中間見直しを行います。町広報紙では、全3回を予定している町民とのディスカッションの状況についてお知らせしていきます。

どうして見直しをするの?

平成30年3月に策定し、令和9年度までの10年間のまちづくりの指標となる「第6次朝日町総合発展計画」。本年度で策定から5年目を迎え、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大、DX化やゼロカーボンシティの実現等様々な社会情勢の変化に対応するため、このたび計画の見直しを行うこととしています。

今回の見直しでは、町の将来像(チャレンジ・つながり・希望～町民が活躍し笑顔あふれるまち～)はそのままに、町民と町職員が9つのチームに分かれ、町が考えた見直し案を町民に提案し、ディスカッション形式により意見交換を行います。その後、町民ディスカッションやパブリックコメント等の意見を踏まえて最終的な見直し案を作成します。

第1回目となる今回は見直しの進め方と、見直し案の説明を行いました。今回の目標は「分からないをなくす」。2回目のディスカッションで意見を話すために町からの提案の中で分からなかった用語や制度、町が実施している事業内容や成果等について質疑を行いました。

「第6次朝日町総合発展計画」見直しの主な流れ





ホームページに写真



▲▶手作りの茅の輪は、これまでで一番の出来と話し、納得の出来栄



6/30

穢れを落とし、無病息災祈願
なごし おおはらえ
夏越の大祓

1年の折り返しに半年分の穢れを落とし、残る半年の健康と厄除けを祈願する「夏越の大祓」。6月30日、大沼浮嶋稲荷神社（最上俊一郎宮司）で地区住民による参拝が行われ、約10人が参加しました。氏子総代会が茅と葦、竹で作った「茅の輪」。参加者は輪の中を8の字を描くように交互にくぐりながら、残る半年の健康を祈願しました。小林晴雄氏子総代会長は「良いことも悪いことも今日で一旦区切りをつけて、明日からまた新しい気持ちで頑張っていきたい」と語っていました。



6/5

ウォーキングで心も身体も健康に
前田沢ウォーキング

6月5日、前田沢公民館をスタート地点とした前田沢ウォーキングが行われ、区民ほか約40人が参加しました。当日は、暑くも寒くもないウォーキングにぴったりな天候に恵まれ、参加者は「楽々コース」、「お手軽コース」、「金毘羅山展望コース」、「ミズノおすすめコース」の4コースから自分の体力に合わせたコースを選んでウォーキングを楽しみました。終了後は空くじなしの抽選会が行われ、豪華商品を受け取った参加者たちは笑顔で公民館を後にしました。

7/2

アメリカ文化を楽しみながら学ぶ
国際交流イベント (BBQ)

アメリカの食文化やゲームを楽しむ教室が7月2日、創遊館で行われ、小学生15人が参加しました。8月に海外派遣事業でブリティッシュヒルズに行く8人の中学生が企画・運営をするこのイベント。今年は「Summer BBQ」というテーマの中で、中学生たちがゲームの内容を考え、英語たっぷりのゲームを小学生たちと一緒に楽しんでいました。昼食はハンバーガーとポテトチップス、オレンジというアメリカらしいメニュー。子どもたちは自分でパンに食材をはさみ、笑顔で食べていました。



◀浴衣の帯を整えてもらう中学生

6/10
17

地域の方々から日本の伝統の着物を学ぶ
浴衣の着付け教室

朝日中学校1学年の家庭科で「浴衣の着付け教室」が6月10日と17日に行われました。町中央公民館女性文化教室の着付け教室の方々に講師に迎え、浴衣を実際に着ることで、和服と洋服の構成や着方の違いについて学びました。生徒たちは慣れない着付けに苦労しつつも、講師の方々に助けをもらいながら、全員が浴衣を着ることができました。

着付けを体験した生徒は「浴衣を初めて自分で着ることができて嬉しかった」と話していました。

7/2

星の会が主催する古民家マルシェ
すんたく市「おさがり交換会」

7月2日、今年度2回目の開催となる古民家マルシェ「すんたく市」が新宅今井家「宿のやかた」で行われ、町内外からたくさんの方が訪れました。軽食やハンドメイド品の販売を始めとして、射的やメダカすくいなど楽しい出店が多く出店し賑わいを見せていました。同時開催イベントのおさがり交換会も、多くの子ども服が集まり大盛況。交換会の鈴木紗織代表は「前回よりも持ってきていただく量が増え、浸透してきたと感じています。今後もより良いやり方を考えながら継続していきたい」と話していました。



▶おはなし会がなのみによる絵本の読み聞かせ会も実施



▲▶真剣な面持ちで昔話を聞く子どもたち

6/12

昔話で子どもたちの聞く力を育てる
語りの会つむぎ「あさひ保育園で昔語り」

6月12日、子どもたちの聞く力を育てる「昔語り」があさひ保育園で行われました。この会は「語りの会つむぎ（成原千枝代表）」により、保育園で定期的に開催されています。子どもたちは真剣な眼差しで話し手が話す昔話に耳を傾け、笑ったり驚いたり楽しんで聞いていました。話をした同会の会員は、「集中してお話を聞いてくれていて、応答もしっかりしていました。お話に対して相槌を打ったり、驚いた表情を見せてくれて嬉しかった」と話していました。

7/2

1日だけの特別な夜
ライトアップスペシャルデー

6月1日から実施している空気神社フォトジェニックライトアップのスペシャルデーが7月2日、空気神社で開催されました。ライトアップされた空気神社では長井市のオカリナ演奏グループ「オカリナーズ」の生演奏が行われ、美しい音色と情景が組み合わせ、その場に居た皆さんを特別な時間へと誘いました。そのほかにも町内物産の販売や縁日の開催のほか、願い事が書いてある短冊をつるした七夕飾りが飾られるなど来場者で賑わう夜となりました。



6/19

今シーズンの安全を祈願
朝日連峰夏山開き

朝日連峰夏山開きの安全祈願祭が6月19日、鳥原山の朝日嶽神社で執り行われました。一般登山客を交えての神事は3年ぶりとなり、約60人が参加。神事では朝日山岳会（花山忠夫会長）等関係者が玉串を奉納し、約4か月間にわたる登山シーズンの安全を祈願しました。前日から山に入っている朝日山岳会のメンバーは、道をふさいでいる倒木の除去等登山道の整備やロープ張りをを行い、登山者が安全に通行できるように作業に励んでいました。

日本画壇の最高峰

第77回 春の院展に山口裕子さんの作品が入選



天童市美術館にて入選作品と作者の山口さん

《作品名》

「土に還った彩がいつか誰かの花となる」

このたび、町在住の日本画家山口裕子さんの作品「土に還った彩がいつか誰かの花となる」が春の院展に入選しました。同展覧会は、公益財団法人日本美術院が公募する春を告げる日本画壇の最高峰の展覧会として高い評価を得ています。全国各地で展覧会が行われ、山形県では6月17日～26日に天童市美術館にて展示されました。

山口さんは、「この作品は朝日町のリンゴとあつぷるニュー豚を題材に、『美味しいりんごが食べられることの尊さと、一步踏み出した勇気が周り回って誰かの希望になり得ること』を伝えたくて描いた作品です。あつぷるニュー豚は終了した事業ですが、あえて題材にさせていただきました。事業立ち上げ時の情熱、町にもたらしてくれた夢や希望、美味しいお肉を食べたときの感動の記憶は、必ず誰かの心に残っています。それらはいつか誰かが何かを始める原動力の種となり、再び新たな希望の花を咲かせてくれると信じています。これからも人や自然の営みから得る新たな気づきや感動を絵に描き、全国で発表することで朝日町の興味を持ってくださる方が増えると嬉しいです」と話していました。



町地域おこし協力隊と桃色ウサビの「中の人」こと、佐藤恒平情報交流総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

こんにちは、地域おこし協力隊の鈴木です。コロナ禍で協力隊の活動が進められなかったことから、もう1年延長して頑張ることとなりました。今年もどうぞよろしくお願います。

3月の協力隊報告会の中で、朝日町での人の交流を増やし、世代間や町内外の交流を生み出すために、松本亭一農舎だけでなく、町内各地でボードゲーム等によるイベントを行いたいという目標を立てお話をさせていただきました。

目標のとおり、6月10日、11日に「大人も、ボードゲーム大会」を開催。2日合わせて、町内外から約20人の方に参加していただき、とても盛り上がり

「交流促進イベントを実施しました！」

移住・交流推進員(地域おこし協力隊) **鈴木 公人** (南陽市出身)



▲たかひろうさん(写真右上)とボードゲームを楽しむ参加者の皆さん

ました。ゲームを通してコミュニケーションをとることで初対面同士の方でも自然とすぐに打ち解けられ、新たな交流のきっかけになったと思います。

また、今回は新潟からゲストの「たかひろう」さんが来てくださいました。新潟を中心にボードゲームの楽しさを伝える活動を精力的に行っている方で、SNSを通じてご縁ができました。今回のイベントでは、たかひろうさんが持ってきてくださった新潟発祥のゲームの体験も行いましたが、中でも佐渡がテーマのボードゲーム「地域王」は、楽しく遊びながら佐渡の魅力が知れる興味深いボードゲームでしたので、興味のある方はぜひ調べてみてください。

今回のイベントは夏休み期間に開催して、多くの子どもたちにも参加してもらいたいと思っています。たかひろうさんも、朝日町を気に入ってくださり、次回も来てくださる予定です。興味がある方は、見学だけでも大歓迎なので、ぜひいらしてください。

各種大会の成績

★印は県大会出場

- 西村山陸上競技選手権大会 (6月12日/NDソフトスタジアム山形)
 - 小学生男子の部
 - 5位: 6年1000m 犬塚天則(宮宿)
 - 小学生女子の部
 - 1位: 3,4年60m 志藤ころ(大谷)
 - 6位: 3,4年60m 白田愛望(大谷)
 - 高校一般女子の部
 - 1位: 走り幅跳び 渡邊紗代(大町/谷地高)
 - 2位: 100m 阿部菜々子(緑町/山形東高、砲丸投げ 堀雪菜(大谷第七/谷地高)
 - 3位: 100m 渡邊紗代(大町/谷地高)
 - 高校一般男子混合の部
 - 1位: 4×100mリレー(渡邊紗代ほか3人)
- 西村山中学校総合体育大会 (6月18日/19日/各会場)
 - 団体戦
 - 1位: 剣道男子★、剣道女子★、柔道女子★
 - 個人戦
 - 1位: 剣道男子 岡崎啓吾★、剣道女子 渡邊日和★、柔道男子 阿部蒼空★、柔道男子 西澤峻★、柔道女子 海野結菜★、柔道女子 海野真穂★、柔道女子 菊地舞★
 - 2位: 剣道女子 佐藤羽華★、女子50m自由形 峯田七奈★、女子100m バタフライ 佐藤結菜★、女子200m バタフライ 佐藤結菜★
 - 3位: 剣道女
- 子 浅岡莉愛★、柔道女子 熊谷重、女子100m自由形 峯田七奈★(ベスト6)...
- 剣道男子 遠藤悠平★
- 西村山中学校総合体育大会陸上競技大会決勝 (6月27日/NDソフトスタジアム山形)
 - 学校対抗成績
 - 2位: 男子総合
 - 男子の部
 - 1位: 2年100m 小松蒼介★、低学年400mリレー★(渡辺天照、安藤裕唯、堀彰雅、小松蒼介)、4種競技 近藤碧唯★、2位: 1年1500m 堀彰雅★、10mハードル 小松蒼介、400mリレー(今井慎吾、鈴木連音、細谷叶汰、近藤碧唯、走り幅跳び 近藤碧唯、砲丸投げ 長岡翼★、4種競技 安藤裕唯★)
 - 3位: 砲丸投げ 細谷叶汰、4位: 走り幅跳び 海野我空
 - 5位: 3年100m 鈴木連音、走り高跳び 細谷叶汰
 - 6位: 200m 鈴木連音
 - 女子の部
 - 1位: 1年100m 小松莉々姫★、走り幅跳び 小松莉々姫★、2位: 低学年400mリレー(渡邊知奈、菅井唯愛、長岡花、小松莉々姫)
 - 4位: 200m 本田莉々、4種競技 渡邊知奈
 - 5位: 1年100m 菅井唯愛、4種競技 鈴木丹香

町立図書館新刊案内

「アーモンド」

ソヌウォンピョン/著

矢島 暁子/訳

祥伝社



アーモンド(扁桃体)が人より小さく、怒りや恐怖を感じることでできないユニゾン。彼の前にもうひとりの「怪物」が現れて...。他人の感情がわからない少年と、物心もつかないうちに親とはぐれた不良少年、2人の成長物語

「お札に登場した偉人たち21人」

河合敦/著

あすなろ書房



日本史上最強の女帝・神功皇后、財政の天才・高橋是清、細菌学者・野口英世...。紙幣に描かれた人物はどのような業績を残したのか、日本の歴史とどのよな役割を果たしたのかを、最新の研究をまじえて詳しく解説する。

【その他の新刊】

- ▼ 朽ちゆく庭 / 伊岡瞬
- ▼ 信仰 / 村田沙耶香
- ▼ 子宝船 / きたきた捕物帖2 / 宮部みゆき
- ▼ 奇跡集 / 小野寺史宜
- ▼ 棘の家 / 中山七里
- ▼ 今日、これをしました / 群よつこ
- ▼ 忍者に結婚は難しい / 横関大
- ▼ 私と街たち / 吉本ばなな
- ▼ 石礫 / 機捜235 / 今野敏
- ▼ 広重ぶるう / 梶よう子
- ▼ 中島みゆき詩集 / 中島みゆき
- ▼ 一冊でわかる室町時代 / 大石学
- ▼ 時間があっても、ごはん作りはしんどい / 小竹貴子
- ▼ その着物、どうする? / 好きだから知っておきたい保管・メンテナンスの方法 / 星わかこ
- ▼ ズボラでも増えるコツがわかる / マンガお金の基本1年生 / 荻原博子
- ▼ ピヤキのママ / ペクヒナ
- ▼ 教えて!マジカルドクター / 大塚篤司
- ▼ ブラックホールってなんだろう? / 嶺重慎
- ▼ つくしちゃんとおねえちゃん / いろいろみく



【ブックテマコーナー】

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。『課題図書2022』



宮宿小学校6学年行事 鳥原山登山

6月25日、宮宿小学校6学年行事として「鳥原山登山」が行われました。学年行事として朝日連峰に登るのは約6年ぶりのことです。朝日町山岳会（花山忠夫会長）の皆さんの協力の下、白滝登山口をスタート地点に展望台を目指

しました。朝から生憎の雨でしたが、登り始めると次第に晴れてきて結果的に良いコンディションでの登山に。下山する頃には皆さん疲れてへとへとなっていました、小学校時代の思い出の1ページとなりました。



1. 鳥原小屋での記念写真 2. 恐る恐る渡った吊り橋 3. 積雪が残っている鳥原小屋前 4. 登山の疲れが癒されるブナ林の新緑 5. 登りが終わって湿地原でカメラに手を振る保護者の皆さん 6. 希望者だけで登った展望台では小朝日岳がしっかりと望めました

春夏秋冬 編集後記

思い出は笑顔と共に

今月号は、子どもたちのために鬼ごっこや水鉄砲大会などのイベントを企画している末吉良ボーイズの皆さんを特集しました。広報担当としてほぼ毎回取材させていただいている末吉良ボーイズのイベントですが、大人側も楽しんでいるというのが印象的でした。「大人が笑顔なら子どもも笑顔」、私も子どもたちから見て大人って楽しそうだな、と思われるような大人でありたいと思います。

また、今年は裏表紙に掲載している宮宿小学校学年行事の鳥原山登山にも同行させていただきました。登山前日に睡眠時間があまり取れなかったことが災いしたのか、白滝口登山口に行くまでに車酔いしてしまいました、非常に苦しい道のりでした。苦しい思いをしながらも編集後記に書くネタができたなと思った私でした。

鈴木 貴典